

退所のあしらせ

平成 24 年 4 月より伏見デイに通所されていた羽賀三穂さんが昨年 10 月末に退所され、入所先の施設から写真とお手紙を送って下さいました。羽賀さん、これまでたくさんの思い出をありがとうございました！どうぞいつまでもお元気で…！



異動のごあいさつ。

4 月より、洛南デイ「あすなろ」に異動となりました。6 年間、本当にありがとうございました。伏見デイの皆さんと過ごした日々は私にとって宝物です。またお会いできる日を楽しみにしています。
(美濃 朋佳)



つながる、広がる、地域講座!!



メ
デ
ィ
ケ
ア
×
伏
見
デ
ィ

平成 28 年度より、京都市伏見障害者デイサービスセンター様と共催で「メディケア・リハビリ地域講座」を定期的開催させて頂いております。弊社は“訪問看護ステーション”として、平成 26 年 2 月に開設いたしました。この地域講座を開催したきっかけは、訪問を始めた当初、「せっかくの社会資源や知識が地域に伝わり切っていない」と感じる場面に何度か遭遇したことです。この講座をきっかけに、ご自身に合った生活の選択肢を増やしたり、その支援者や当事者と社会資源を結びつけたりすることができれば…、と考えています。具体的には、同じ地域で活動されている訪問栄養士さんや訪問薬剤師さん、補助栄養食品会社さんや当事者さんとともに、「その分野の入り口」を体験や実習を交えてお伝えして参りました。この 2 月に開催された際は「高次脳機能障害」をテーマに、当事者さんに「自営業の再開」についてお話し頂きました。その話を聞くために、遠くは兵庫県から、また同じ障害で苦しんでいる方が初めて一人で外出されたり、支援者の方がこの講座を紹介して下さいたりと、開催当初は想像できなかったような広がりを見せています。新年度も「地域のよろずや」のような役割として継続して開催して参りますので、お気軽にご参加願います。
(メディケア・リハビリ訪問看護ステーション京都 高田言語聴覚士)



セイジ・カネダの歌詞世界

モンモンキー モンモンキー
ふつうやないか!!!
たとえば ガスな世の中うぜー
さいアいやないか!!!!
きみ うたのかいをつくれる?
わかんねーや!!!
アか そんなんきくなや



まどちゃん師範の// なぞなぞ道場

Q.「細かくすると金属に変わる紙」ってなーんだ? (難易度：★★★)

編集後記
いやはや、春ですねー。伏見デイもいよいよ新体制がスタート!「たんばばしだより」の編集担当は引き続き私が務めることになりました。これからも伏見デイの魅力をつぶりに伝えられるような機関紙づくりを目指します★ (山下)

(2017年3月20日発行) 編集 山下

TANBABASHI-DAYORI

京都市伏見障害者デイサービスセンター
発行責任者：時任 百子
〒612-8318 京都市伏見区紙子屋町 544
TEL：075-603-1290 FAX：075-603-1292
http://www.normanet.ne.jp/~fusimids/
Email：f-days@kyofc.or.jp

VOL. **41**
2017 APRIL



平成 29 年 2 月 18 日(土)、伏見障害者デイサービスセンターにて早春の恒例行事となった「お楽しみ会」が今年も開かれました。この「お楽しみ会」というのは元々、伏見デイの利用者さんたちに本物の“生LIVE”を味わってもらうため、プロのミュージシャンを招いて演奏会を開こう!という企画から始まり、当初はデイの日中活動の一つとして平日に行なわれていたのですが、昨年度からは

お楽しみ会



歓待を

新成人 おめでとうございます!!

CONGRATULATIONS!

★青井 由花 さん
★石川 滉 さん
★岩崎 康太 さん

平成 29 年 1 月 10 日、伏見ディで「成人を祝う会」が開催されました。本来は毎年恒例の行事なのですが、昨年度は新成人の方がいなかったため、今回は 2 年ぶりの開催です。

今年成人を迎える利用者さんは過去最多の 3 名! …ということで、「祝う会」の方も例年より活気に満ちたものとなりました。

主役の新成人さんたちは特別な装いで参加され、所長の挨拶が始まると、自然と気持ちも引き締まっておられるようでした。

そして子どもの頃の写真や伏見ディに来られてからの様子を紹介しながら思い出を振り返る場面では、スクリーンを見つめて感慨深い表情をされていました。

そのあと、ご家族よりお預かりした心温まるお手紙を担当職員が代読し、伏見ディ利用者の皆さんからはお祝いの言葉とともに記念品のアルバムと花束を贈呈!

最後は合唱と集合写真の撮影でにぎやかに締めくくられ、デイルームはたくさんの笑顔と拍手喝采であふれていました。

今年は「成人を祝う会」で晴れやかに新年を迎えることができ、伏見ディの皆さまにとっても気持ちのいいスタートとなりました。皆さまの今後のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。(小田島)



「第三者評価」を終えて――

平成 29 年 2 月 14 日に第 2 回目の第三者評価を受診しました。

前回の受診から別室(どれみふあ荘)を借りての SST プログラムが始まり、この取り組みについて、今回の受診で好評価をいただきましたが、評価項目が多いなか内容の掘り下げができなかったのが残念でした。

職員全員で評価委員会も立ち上げ、前回からの振り返りの中で今後の課題も見えてきて、3 年に 1 度の事業内容を見直すいい機会でした。しかし、今回の受診ではマニュアルに関してどこまで掘り下げたマニュアルを作成すればいいのか、評価機関から求められるマニュアルに事業所としては戸惑いを感じました。第三者評価機関の推奨するマニュアル指針等があれば、それを参考に事業所がそれぞれの実情にあったものを作成できるのではないかと思います。

評価結果についてはホームページ等で公表していきます。

平成 29 年度が始まりました。より良質なサービスが提供できる事業所を目指して職員一同取り組んでまいりますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。

(京都市伏見障害者ディサービスセンター 所長 時任百子)

ART IS AN EXPLOSION!!

ゲージュツは
バクハツだ!

伏見ディ
創作活動

— 以前にも「たんばばしだより」で少しご紹介した伏見ディの創作活動。
今回は「特別企画」として、その全貌を どっかーん!! と大公開いたします。



▲「ふれあいまつり」や「お楽しみ会」に合わせ、デイルーム前の廊下に出現する特設ギャラリー“galerie 伏見ディ”。多くの一般の方に皆さんの作品を見てもらえる、またとない機会です。



▲ 絵の具、クレパス、カラーペン…
利用者さんの描き方や作風に合わせて、その方の個性を最も引き出せるような画材や道具を選ぶのも重要なポイントです。

「ふれあいまつり」では、毎回大型の立体工作も制作。昨年の作品は金色の折り紙を細かくちぎってちりばめた『金閣寺』、賞賛の声を多く頂いた力作です。

◀ 昨年夏には“氷”を使った水彩画に挑戦…冷たっ!



私たちが大切にしているのは、「楽しんで取り組めること」と「利用者さん自身にできる動きを活かすこと」。絵筆が上手に使える人でも、職員が手を添えて描いてしまえば意味がないので、ご本人が自分で手や物を動かすことによって作品が生まれるよう、“モダンテクニック(※)”の活用をはじめ、様々な道具の工夫・試作など、日々試行錯誤を続けています。

▲ 刷毛にひもをつなぎ、それを引っ張ってもらって描く手法です。絵の具の濃淡や描線の勢いによって、変化に富んだ作品が生まれます。



◀ 「コジコレ」や「とっておきの芸術祭」など、外部の作品展等にも出品。創作意欲が燃え上がります!



※ “モダンテクニック”: 偶然にできる形や色を利用した効果や表現の総称で、たらず・はねかける・こすりだす・型押し・ひっかく・にじませる…など絵筆にこだわらない様々な造形行為によって、面白い表情をもつ作品が生まれるのが特徴です。



◀ 絵の具をつけたボールを箱の中で転がしてもらっています。どんな模様がでるかな…?

